



2026

板橋区立西台中学校

2026.6.30発行

校長 内田 善人



西台中だより 6月

6月15日 全校朝礼 校長講話「マンガ家になりたかった」

「純度の高い個人による表現」優れた文化としてのマンガを真面目に考える

少し前に、20年来の友人と会う機会があり「ずっとマンガ家になりたいって言ってたよね。」と言われました。物心つくかつかないくらいからドラえもんに大体のことを教わってきた気がします。藤子不二雄、手塚治虫、鳥山明…マンガはずっと好きで、今では特に疲れているときに好きな作品を読みふける傾向があります。学校という場も先生という職業も、ドラマと笑いと感動にあふれているので、この経験を生かしていつか面白いマンガが描けたらいいなあと思っています。

朝礼後、全校生徒を対象に実施したアンケート結果をもとに、生徒たちが今どんなマンガに心を動かされ、さらに将来に対してどのような職業観を抱いているのか、データ分析を交えてご紹介いたします。

生徒たちの好きなマンガトップ5とその傾向

生徒たちに「おすすめのマンガ（好きなマンガ）」を尋ねたところ、多種多様な作品が挙げられました。その中から、特に人気の高かった上位5作品は、

1位：『呪術廻戦』『ONE PIECE』『鬼滅の刃』

4位：『ブルーロック』

5位：『葬送のフリーレン』

アニメ化もされている名作が並びましたね。『アオのハコ』を熱くおすすめしてくれる生徒も多かったです。朝礼の中で紹介したつげ義春や、話には出しませんでしたがデビュー作から大好きな荒木飛呂彦が好きという生徒もいて嬉しかったです。派手なバトルやアクションだけでなく、時間の流れや人の死、他者を知ることの尊さといった「文学的テーマ」を深く味わう、生徒たちの高い鑑賞眼も伝わりました。さらに、『スラムダンク』や『ドラゴンボール』といった親世代の名作を挙げる生徒も多く、メディアミックスや家庭内での会話を通じて、良い作品が世代を超えて受け継がれている様子も伺えます。「諦めたらそこで試合終了ですよ…?」というセリフをとってみても、すでに多くの国民に定着している感がありますよね。

「子。」作者の魚豊さんは「作品としては6巻くらいで完結するのが最も美しいと思う。」そうです。↑

「マンガは単なる娯楽だと思っていましたが、作者によってストーリーや表現に深い個性があること、そして日本の大切な文化であることを改めて実感しました。」（9年生）

「話を聞いてマンガに少し興味が湧きました。定期考査が終わったら、ただ読むだけでなく、作者がどんな意図で描いているのか注目して読んでみようと思います。」（7年生）

マンガは、歴史、科学、スポーツ、心理学など、極めて高度な専門知識や人間味溢れる人生訓が詰まった「複合芸術」です。生徒たちは、作中のキャラクターが挫折を味わいながらも立ち上がる姿等から、現実世界を生き抜くための「レジリエンス（精神的回復力）」を学ぶこともあります。私はマンガを決して遠ざけるべきものではなく、活字文化や芸術への入り口、そして豊かな感性を育む優れたメディア（文化）として捉え、生徒たちの知的好奇心を刺激する教材の一つだと考えています。

朝礼講話プレゼンテーションより↓

歴史は起こったこと
→事実

作劇は起こり得ること
→虚構ではない

勘違いさせるのが物語
冷静になると
大したことないのが本質
内に秘めたことも
むしろ現実

マンガって
ロックだ。

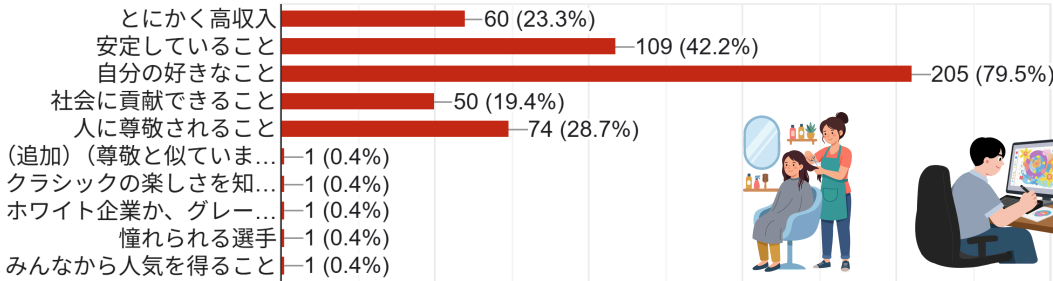
生徒たちがつきたい仕事トップ5

将来の進路に直結する「どんな仕事につきたいか」という質問の集計結果です。多様な夢が集まる中、上位にランクインした職業と、生徒が仕事を選ぶ上で「最も重視すること」を合わせて分析します。

1位：サッカー選手 2位：教員・先生 3位：ゲーム関係（開発・クリエイター）
4位：バスケットボール選手、イラストレーター・漫画家、プロ野球選手、美容師



あなたがつきたい仕事で最も重視することは何ですか
258件の回答



W杯の影響でしょうか…。

希望職業のトップは「サッカー選手」をはじめとするスポーツ選手、そして「ゲーム関係」「イラストレーター」といったクリエイティブ職が上位を占めました。これは、仕事選びの基準で「自分の好きなこと」が205名（約8割）という圧倒的1位であることと同じく、自分の情熱をそのまま将来の職業に結びつけたいという理想が強く表れているのではないのでしょうか。

しかし、ここで注目すべきは、重視することの2位に「安定していること（109名）」が入り、希望職業の2位にも「教員・先生」という堅実で社会貢献度の高い職業がランクインしている点です。「大好きなサッカーやイラストの道に挑戦したい」という夢を抱く一方で、「生活の安定や社会的な信頼、貢献も同じように大切だ」という、健全でリアリスティックな視点も併せもっているようにみえます。

「私も絵を描くのが大好きです。自分の『好き』を諦めず、夢に向かって今よりもっと努力したいと思いました。」（8学年） 人生の選択肢は一つではありません。学校としては、生徒たちが抱く「好きなことに挑戦したい」という情熱を大切に育てつつ、「社会での安定や貢献」といった現実的なキャリア形成を支える指導を今後も継続してまいります。保護者の皆様におかれましても、ぜひご家庭で「今、どんな作品や作家が好きなのか」「将来どんなことを大切にしたいか」といったテーマで、お子様と語り合うきっかけにいただければ幸いです。

生徒の活躍

板橋区中学校夏季卓球選手権大会

男子団体 優勝🏆 男子個人 優勝 廣野理人 準優勝 戸村奏介 3位 鷲尾泰地 5位 伊藤快和
女子団体 第三位🥉 女子個人 優勝 村上愛琉 準優勝 財津凜子 5位 長谷川瑞、鱒淵杏奈

板橋区中学校夏季バレーボール選手権大会 バレーボール部 第3位🥉

高島平ボランティアワークショップ 春の事業参加者

5月24日(日) こどもわくわくフェスタ2026

小幡奈月 山根武京 千野結唯奈 松村怜奈 大瀧夏美 中野絢実

6月6日(土) 集まれ！ボランティアワークショップ

山根武京 伊藤遥人 吉田桃乃 星野寧希 千野結唯奈



7月の行事予定

1日(水) ⑥進路説明会1・修学旅行説明会(9年) 17日(金) 終業式
3日(金) 租税教室(9年) 20日(月) 海の日
7~9日 富士見高原移動教室(8年) 21日(火) 夏季休業日始 三者面談21~27日
13日(月) 生徒会朝礼
16日(木) 大掃除 9月1日(火) 始業式・避難訓練

